

授業科目	*地域生活支援論					実務家教員担当科目	○				
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	吉原 悦子										
授業概要	地域で生活するあらゆる年代の人々のいのちと健康を支援するため、地域特性を把握し、看護が提供される暮らしの場を理解する。地域包括ケアシステムについて理解を深め、保健、医療、福祉、教育の専門職種を理解し連携・協働のあり方を考える。またその中で期待される看護の役割を考察する。以上のことについて、実務家教員として臨床での実務経験を有する教員が教授する。										
授業形態	講義	授業方		法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 地域で生活する様々なライフサイクル、健康レベルにある人々の健康と生活について理解することができる。</p> <p>2. 地域包括ケアシステムの概念と背景について理解できる。</p> <p>3. 地域包括ケアシステムにおける多様な専門職の役割や連携・協働について理解することができる。</p> <p>4. 地域で生活する様々なライフサイクル、健康レベルの人々の多様なニーズを理解し、看護の機能や役割について考えることができる。</p> <p>看護が求められる多様な場とその特性を理解することができる。その中で自分自身も地域の中の一員であることを自覚しながら、地域包括ケアシステムを理解することができる。また、地域包括ケアシステムにおける多機関・多職種の役割や連携・協働について理解できる。</p>										
理想的レベル	<p>標準的なレベルを修得し、さらに</p> <p>地域で生活するあらゆる健康レベルの人々に対して、それぞれの場面において看護のあり方について考えることができる。また、地域包括ケアの一員としてフォーマルな社会資源のみではなく、ボランティア、住民活動などのインフォーマルな資源を視野に入れ、地域の活動を広くとらえ、人々の健康に貢献するために看護が担う役割について考えることができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	55%										
小テスト											
レポート	40%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	05%										
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21302J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
復習：本日の講義の内容について振り返り、不明な点について調べる										4	
予習：次回の講義内容についてテキストや配布資料について目を通しておく											
授業計画											

第1回	<p>テーマ：看護と生活と社会</p> <p>地域で生活する人々の暮らしや健康について理解し、生活を支援することについて考える。</p>
第2回	<p>テーマ：地域を概観する</p> <p>地域を見る視点を学び、自分の生活する地域の特徴や環境を考えてみる</p>
第3回	<p>テーマ：地域社会との関わり</p> <p>地域の多様性や特徴から地域包括ケアシステムの必要について理解する</p>
第4回	<p>地域包括ケアシステムの概念と社会背景①</p> <p>地域包括ケアシステムの概念と関わる機関、多職種について理解する</p>
第5回	<p>テーマ：地域包括ケアシステムの概念と社会背景②</p> <p>地域包括ケアシステムの概念と関わる機関、多職種について理解する</p>
第6回	<p>テーマ：地域包括ケアシステムの概念と社会背景③</p> <p>地域包括ケアシステムの概念と関わる機関、多職種について理解する</p>
第7回	<p>テーマ：地域包括ケアと意思決定支援①</p> <p>意思決定支援における看護師の役割を考える</p>
第8回	<p>テーマ：地域包括ケアと意思決定支援②</p> <p>意思決定支援における看護師の役割を考える</p>
テキスト	<p>・河原加代子：地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基盤 医学書院</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>・高橋紘士：地域包括ケアシステム オーム社</p> <p>・関永信子：地域包括ケアシステムの基礎的理解と実践 翔雲社</p> <p>・秋山正子：つながる・ささえる・つくりだす在宅現場の地域包括ケア 医学書院</p> <p>・平野かよ子：健康と社会・生活 メディカ出版</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>提出物のフィードバックは講義内で行います。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>健康や医療、社会保障制度等に関連する書物やニュースに関心を持ちましょう。</p> <p>特に地域の催事に興味を持ち、どのようなライフステージの方が参加されているのか関心を持ちましょう。</p> <p>地域で生活するに当たり、困っていることや不便に感じていることはないか周囲の方にインタビューをしてみましょう。</p> <p>地域で生活する人々に関心を持ちどのような課題と抱えているのかなど、自分の住んでいる地域に目を向け、関心を持って生活し、その上で課題が見いだせる力をつけていきましょう。</p> <p>レポートについては講義の中で説明します。</p> <p>出席については、出席カードを提出してもらいます。</p>

